

学 校 名	稲城市立稲城第二小学校
コーディネーター数	6人
ボランティア数	約50人

□ 活動の概要

稲城市では、学校・家庭・地域が一体となって学校の教育活動を支援する体制を整えるため、学校と地域等の総合的な調整役を担う「学校支援コンシェルジュ」を、平成25年度に市内の2中学校区で、26年度から全6中学校区で取り組みを開始している。本校は中学校1校・小学校2校で「稲城二中ブロック」として活動を進めている。このブロックごとに学校支援コンシェルジュが配置されており、本校が所属する「稲城二中ブロック」には6名のコンシェルジュが配置されている。

右の写真は本校3年生のうどん作りの様子で、地域のうどん打ち経験者と道具一式をコンシェルジュに手配していただいた。当日は、保護者ボランティアも交え、総勢10名のボランティアによりうどんを作り、全校児童に坂浜名物のうどんがふるまわれた。



□ コーディネーターの役割

学校支援コンシェルジュは、学校の要望に応じて、ボランティアの派遣や、学校が地域で行う活動に対しての地域の受け入れ先の調整など、下記のような活動を行っている。

- 学習支援・・・教科指導(地域講師)、物づくり指導、部活動指導、少人数指導の補助、教材作成の協力、校外学習の補助、通学安全指導、外国人児童への学習補助、図書ボランティア、学校キャンプ支援、あいさつ運動
- 環境支援・・・施設の補修・塗装、飼育小屋作り、刃物研ぎ、樹木の剪定、学校ホームページ更新の補助、学校内外パトロール、図書室運営補助、学校施設の清掃、花壇整備、草取り、生け花ボランティア、芝生の管理、職場体験の受入先斡旋
- 伝統文化・技の継承・・・伝統芸能演示、伝統行事協力、地域の習わし伝授、伝承遊び指導

□ 活動上の工夫や配慮等

年に3回(6月、10月、2月)、ブロック内の3校の校長・副校長と6人のコンシェルジュが集まり、ブロック連絡会を実施している。各学校の取り組みなどを共有するとともに、実施した教育活動の課題などの情報を交流し、各校の教育活動に生かすようにしている。

また、稲城市学校支援コンシェルジュ連絡会に出席し、市内の情報を共有するとともに、東京都の学校支援コーディネーター研修会などにも参加し、活動内容の向上に努めている。

コンシェルジュを地域やボランティアの方に認知していただくため、コンシェルジュの名刺や学校支援コンシェルジュ事業のパンフレット(稲城二中ブロック版)などを作成し、各学校・保護者や自治会などに広く配布して、コンシェルジュの周知に努めている。

□ 活動の成果や感想 (実践を通じた児童・生徒、地域の活動者、学校等の声や反応など)

学校としてはコンシェルジュの活動により、地域に密着したより質の高い教育活動を実施することができるようになり、児童・生徒の地域への愛着が深まった。地域の方々やボランティアの方々も、子供たちが地域を担う大人へと成長することを願ってこの活動に取り組みされている。